●　５月２７日　iCAN21 下野新聞からの取材を受けました

下野新聞　2021年7月3日（土曜日）

電子技術の世界大会へ

国内コン2位で代表

地震速報連動、瓶落下防ぐ

宇都宮・帝京大チーム

【宇都宮】帝京大理工学部（豊郷台1丁目）の学生チームが、4月下旬に開かれた微小電子機械システムを用いた技術コンテストで国内大会2位となり、世界大会の代表に選ばれた。緊急地震速報と連動した瓶類の落下防止システムを改良し、高い評価を得た。晴れ舞台を前に、学生たちはいっそう研究に熱意を燃やしている。（藤井達哉）

大会は「国際イノベーションコンテスト」という名称で、中学、高校、専門学校、大学、大学院生らがチームで競う。12回目の今回は、書類による1次審査を通過した12チームがオンラインで発表した。

帝京大チームは情報電子工学科の蓮田裕一教授(63)の研究室に所属する4年飯田雅裕さん(22)、3年浜崎圭亮さん(20)、マレーシアの留学生シャヒル・ビン・アブドゥルさん(20)の3人。東北大などのチームに続く準優勝に輝いた。

3人が研究するシステムは、商品棚に設置…信機がラジオで緊急…報を受信すると、棚…部に設置された枠が…の網が落ちて、瓶が…るのを防ぐ。緊急地震…が間に合わない場合…揺れを感知して作動…

日本産業技術教育…主催する2019年…明・工夫作品コンテ…でも同様のシステム…賞を受賞していた。…のメンバーだった飯…をリーダーとして、…完成度を高めた。

国際イノベーションコンテストに出場する（左から）シャヒルさん、浜崎さん、飯田さん、蓮田教授

７月３日に新聞掲載

記者さんに減災システムを説明

●　６月３日　生物＆作物関係の研究が急ピッチで進みました

ブロッコリーもやし

キュウリのうどん粉病の画像認識

●　６月１０日から　ネパールからの留学生ヤダブさんの研究装置が完成

掘潜型カゲロウ幼虫の飼育装置の開発

４段式人工水路も作り上げました